

2. 仕事に関する状況

(1) 現在の就業状況

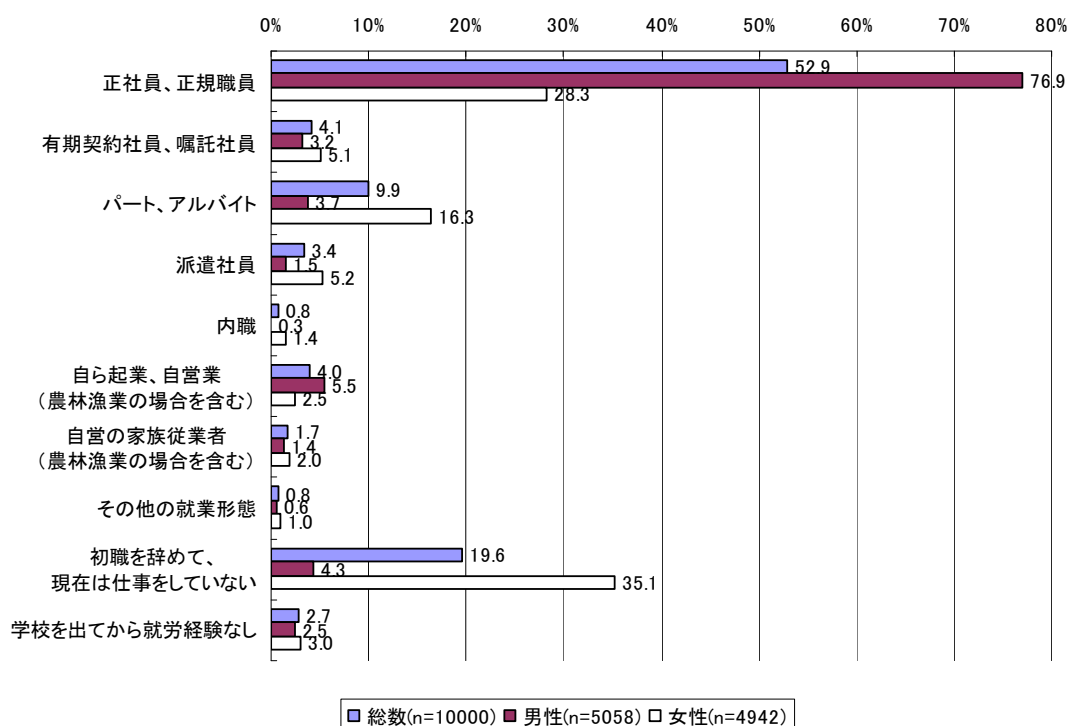
Q2-4. あなたは学校を出てから仕事についていたことがありますか。(ひとつだけ)

Q3-6. A社からの離職の有無と現在の状況を教えてください。なお、離職には、育児休業等の休職や、出向は含みません。(ひとつだけ)

Q4-1. あなたの現在の勤め先での就業形態はどれですか。(ひとつだけ)

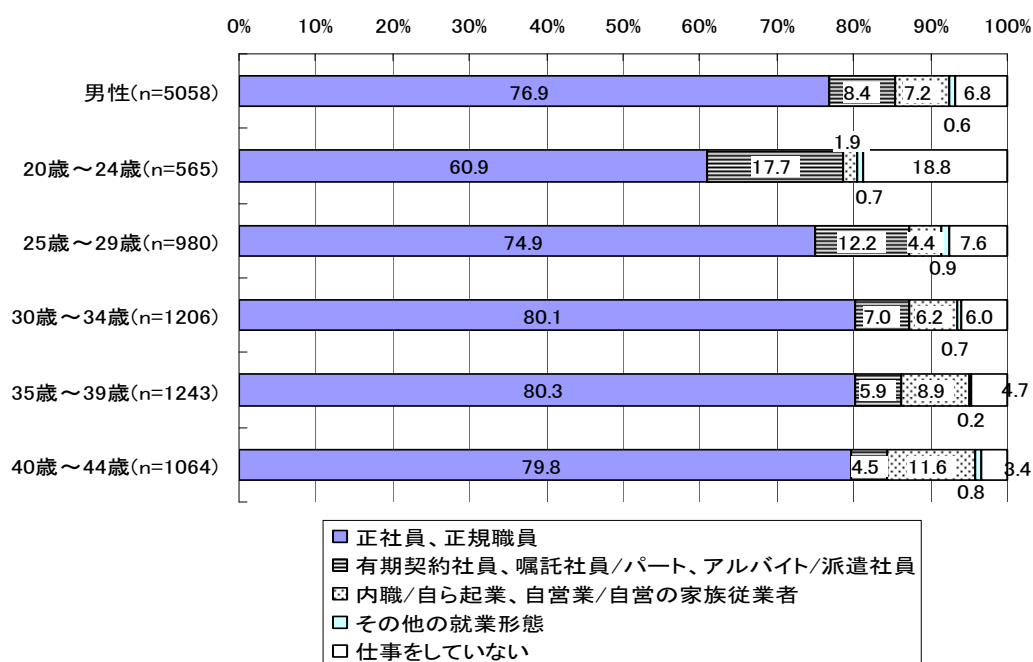
現在の就業状況を性別にみると、男性では、「正社員、正規職員」が76.9%で最も多くなっている。女性では、「初職を辞めて、現在は仕事をしていない」が35.1%で最も多く、次いで「正社員、正規職員」が28.3%、「パート、アルバイト」が16.3%となっている。

図 2-1 現在の就業状況



※ 「その他の就業形態」はQ4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「初職を辞めて、現在は仕事をしていない」はQ3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」と回答した人、「学校を出てから就労経験なし」はQ2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人である。

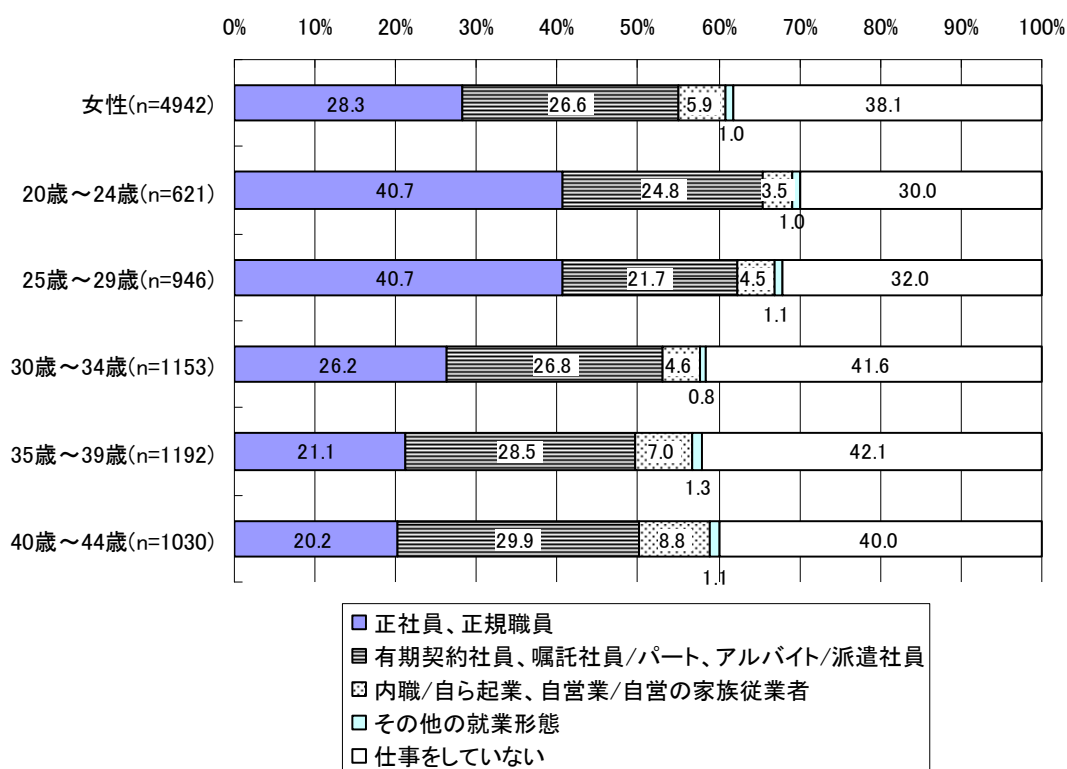
図 2-2 現在の就業状況(5分類)[性・年齢別 男性]



※ この調査では、現在まだ学生で、これまで学校を出て仕事についたことはない人については、調査対象外としており、若年層の結果をみる際には、特に留意が必要である。

※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経歴)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。

図 2-3 現在の就業状況(5分類)[性・年齢別 女性]



※ この調査では、現在まだ学生で、これまで学校を出て仕事についたことはない人については、調査対象外としており、若年層の結果をみる際には、特に留意が必要である。

※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。

現在の就業状況を、性・年齢・婚姻状況別にみると、配偶者がいる男性では、どの年齢においても「正社員、正規職員」の割合が最も高く、9割前後となっている。これに対し、配偶者がいる女性では、どの年齢においても「正社員、正規職員」の割合は約1～2割であり、「仕事をしていない」の割合が約5～7割と最も高くなっている。

図 2-4 現在の就業状況(5分類)[性・年齢・婚姻状況別 男性]

	合計	正社員、 正規職員	有期契約 社員、嘱 託社員/ パート、 アルバイト/ 派遣社 員	内職/自ら 起業、自 営業/自営 の家族従 業者	その他の 就業形態	仕事をし ていない
【男性：配偶者がいる】						
20歳～24歳	37 100.0	32 86.5	3 8.1	0 0.0	0 0.0	2 5.4
25歳～29歳	244 100.0	224 91.8	10 4.1	7 2.9	1 0.4	2 0.8
30歳～34歳	647 100.0	586 90.6	17 2.6	32 4.9	2 0.3	10 1.5
35歳～39歳	830 100.0	730 88.0	29 3.5	58 7.0	1 0.1	12 1.4
40歳～44歳	770 100.0	663 86.1	14 1.8	75 9.7	3 0.4	15 1.9
【男性：結婚したことはない】						
20歳～24歳	526 100.0	310 58.9	97 18.4	11 2.1	4 0.8	104 19.8
25歳～29歳	727 100.0	505 69.5	108 14.9	34 4.7	8 1.1	72 9.9
30歳～34歳	531 100.0	362 68.2	67 12.6	39 7.3	6 1.1	57 10.7
35歳～39歳	377 100.0	242 64.2	42 11.1	47 12.5	2 0.5	44 11.7
40歳～44歳	248 100.0	154 62.1	29 11.7	43 17.3	4 1.6	18 7.3

※ この調査では、現在まだ学生で、これまで学校を出て仕事についたことはない人については、調査対象外としており、若年層の結果をみる際には、特に留意が必要である。

※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。

図 2-5 現在の就業状況(5分類)[性・年齢・婚姻状況別 女性]

	合計	正社員、 正規職員	有期契約 社員、嘱 託社員/ パート、 アルバイト/ 派遣社 員	内職/自ら 起業、自 営業/自営 の家族従 業者	その他の 就業形態	仕事をし ていない
【女性：配偶者がいる】						
20歳～24歳	146	17	17	7	1	104
	100.0	11.6	11.6	4.8	0.7	71.2
25歳～29歳	452	97	81	22	6	246
	100.0	21.5	17.9	4.9	1.3	54.4
30歳～34歳	788	128	172	43	4	441
	100.0	16.2	21.8	5.5	0.5	56.0
35歳～39歳	914	118	237	62	11	486
	100.0	12.9	25.9	6.8	1.2	53.2
40歳～44歳	805	101	240	70	4	390
	100.0	12.5	29.8	8.7	0.5	48.4
【女性：結婚したことはない】						
20歳～24歳	471	236	136	15	5	79
	100.0	50.1	28.9	3.2	1.1	16.8
25歳～29歳	482	283	120	21	3	55
	100.0	58.7	24.9	4.4	0.6	11.4
30歳～34歳	334	165	119	10	5	35
	100.0	49.4	35.6	3.0	1.5	10.5
35歳～39歳	216	107	77	18	2	12
	100.0	49.5	35.6	8.3	0.9	5.6
40歳～44歳	141	71	39	12	6	13
	100.0	50.4	27.7	8.5	4.3	9.2

※ この調査では、現在まだ学生で、これまで学校を出て仕事についたことはない人については、調査対象外としており、若年層の結果をみる際には、特に留意が必要である。

※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。

(2) 現職で正社員・正規職員ではない理由

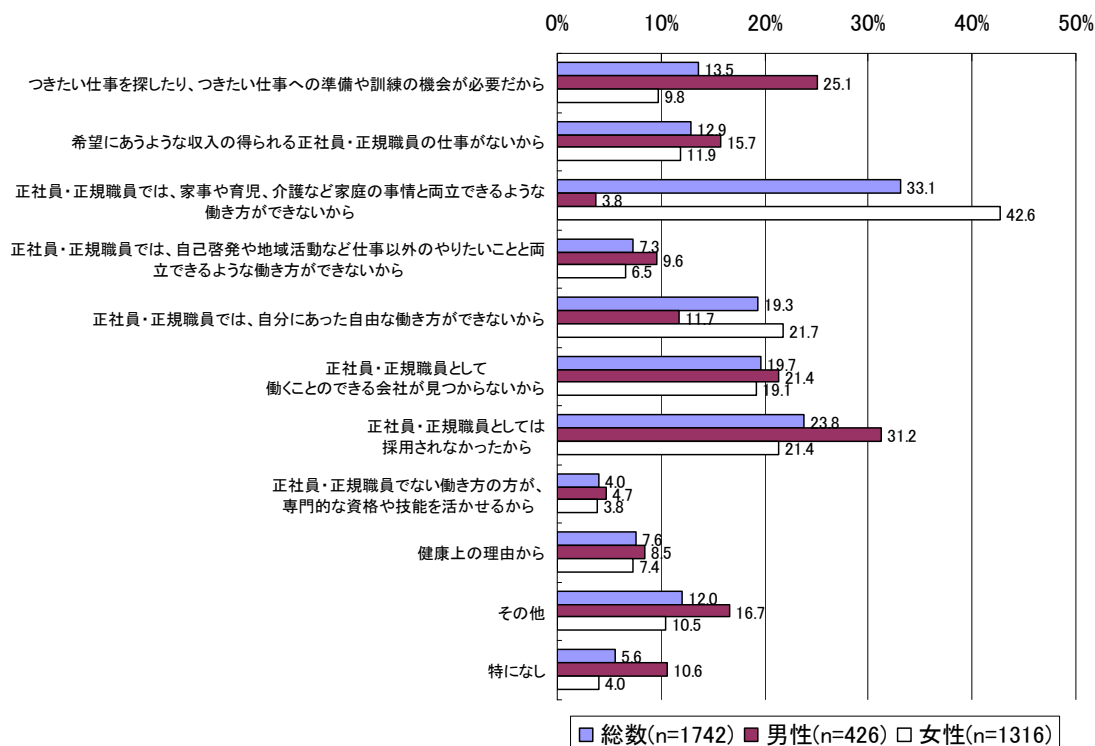
【Q4-1で「有期契約社員、嘱託社員」「パート、アルバイト」「派遣社員」を選択した方のみ】

Q4-1SQ1. あなたが、現在の勤め先で正社員・正規職員ではない主な理由は何ですか。
(いくつでも)

現在の勤め先での就業形態が、「有期契約社員、嘱託社員」、「パート、アルバイト」、「派遣社員」のいずれかである人(1742人)に対して、現職が正社員・正規職員ではない主な理由を聞いた。性別にみると、男性では、「正社員・正規職員としては採用されなかったから」が31.2%で最も多い。次いで「つきたい仕事を探したり、つきたい仕事への準備や訓練の機会が必要だから」が25.1%、「正社員・正規職員として働くことのできる会社が見つからないから」が21.4%となっている。

女性では、「正社員・正規職員では、家事や育児、介護など家庭の事情と両立できるような働き方ができないから」が42.6%と4割を超えて最も多く、次いで、「正社員・正規職員では、自分にあつた自由な働き方ができないから」が21.7%、「正社員・正規職員としては採用されなかったから」が21.4%となっている。

図 2-6 現職で正社員・正規職員ではない理由

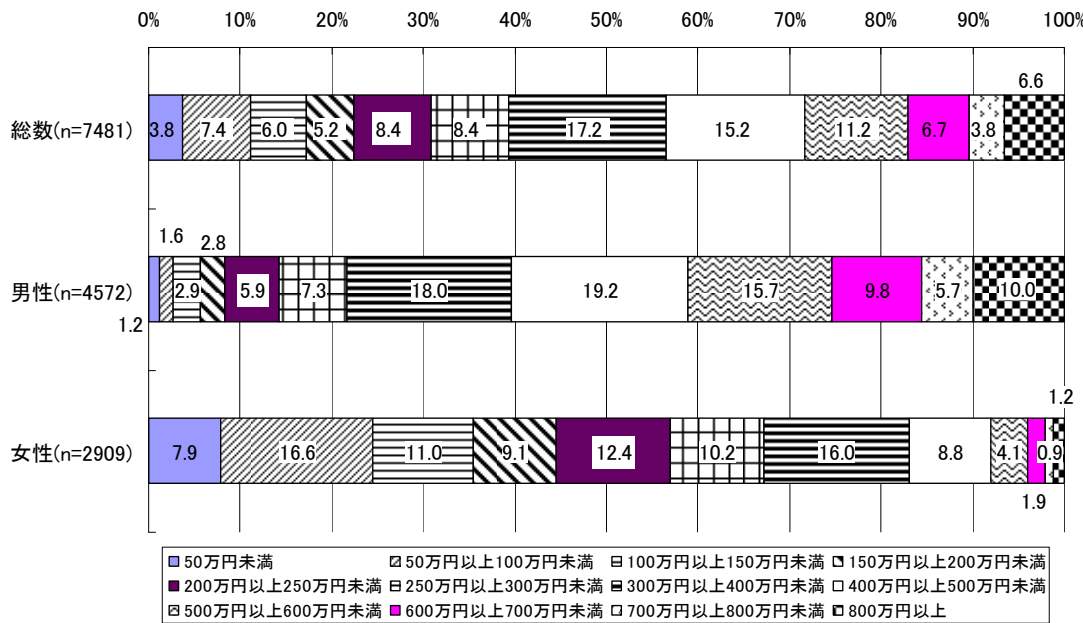


(3) 現在の年収

Q4-6. あなたの現在の年収(税・賞与込み)は、どれくらいですか。(ひとつだけ)

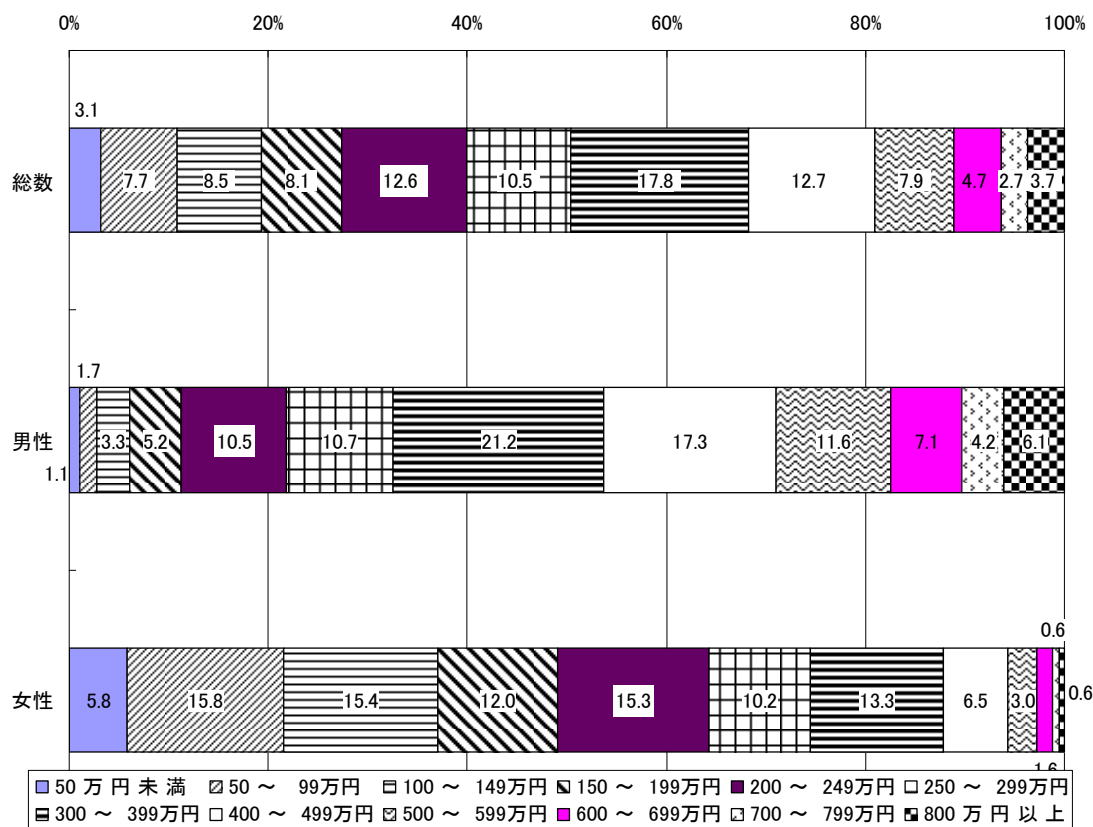
現在仕事をしている人(7771人)に対して現在の年収を聞いたところ、「わからない」と回答した人を除いて性別にみると、男性では、「400万円以上500万円未満」が19.2%で最も多く、次いで、「300万円以上400万円未満」が18.0%、「500万円以上600万円未満」が15.7%となっている。女性では、「50万円以上100万円未満」が16.6%で最も多く、次いで、「300万円以上400万円未満」が16.0%、「200万円以上250万円未満」が12.4%となっている。

図 2-7 現在の年収



※ 「わからない」と回答した人(男性140人・女性150人)を除いて集計

図 2-8 参考 20 歳～44 歳の有業者の所得



- ※ 総務省「就業構造基本調査(平成19年)」より作成。
- ※ 「所得」とは、「本業から通常得ている年間所得(税込み額)」である。
- ※ 家族従業者については、所得の各区分、総数ともに含んでおらず、20～29歳については、在学者を含んでいない。

(4) 現職の勤め先の状況

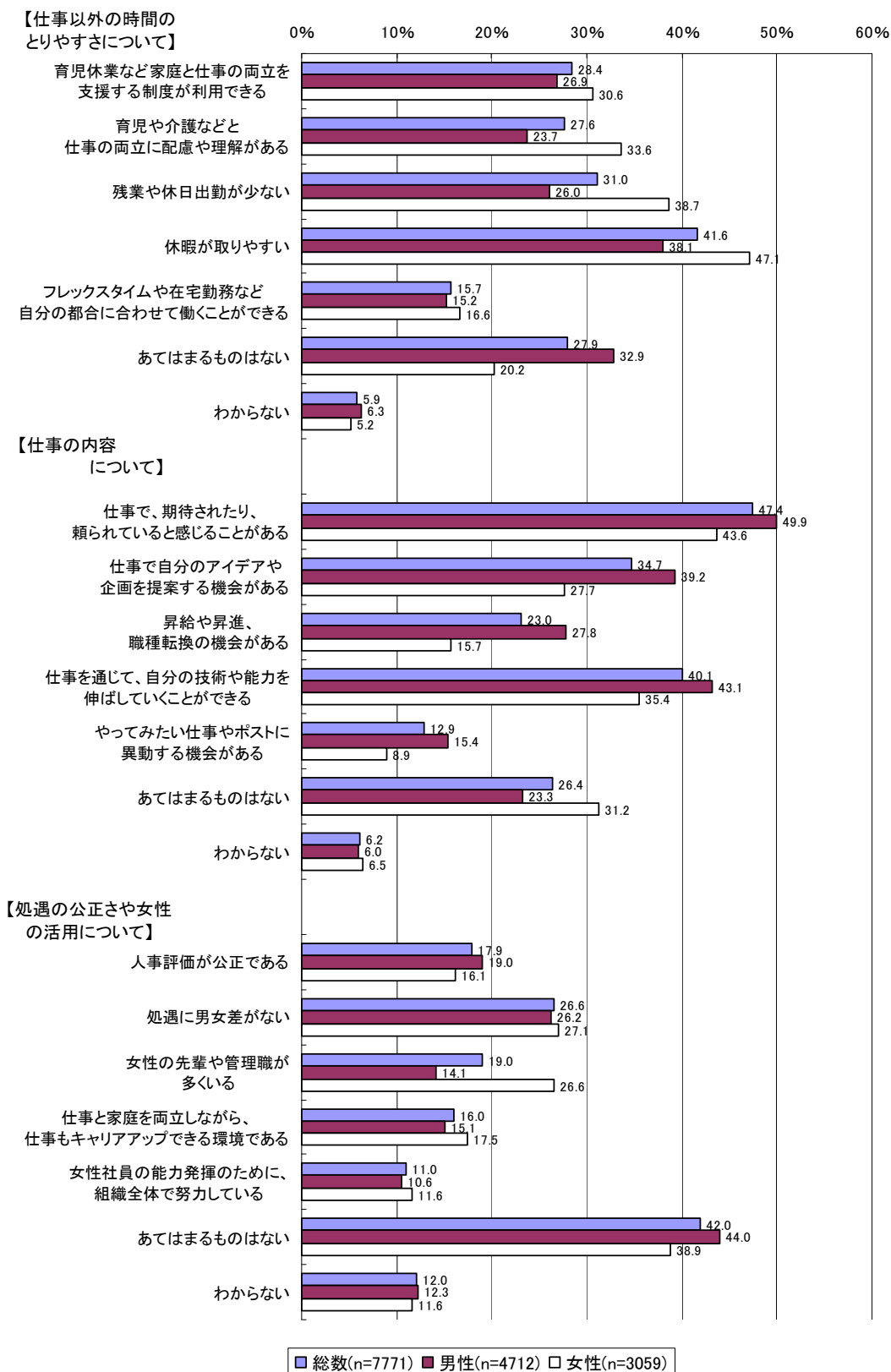
Q4-5. あなたの現在の勤め先の状況としてあてはまるものは、どれですか。
(それぞれいくつでも)

現在仕事をしている人(7771人)に対して現職の勤め先の状況について聞いた。性別にみると、仕事以外の時間のとりやすさについては、「育児や介護などと仕事の両立に配慮や理解がある」、「残業や休日出勤が少ない」、「休暇が取りやすい」のいずれも、女性の方が男性に比べ高くなっており、「あてはまるものはない」は男性の方が高くなっている。

仕事の内容については、「仕事で、期待されたり、頼られていると感じることがある」、「仕事で自分のアイデアや企画を提案する機会がある」、「昇給や昇進、職種転換の機会がある」、「仕事を通じて、自分の技術や能力を伸ばしていくことができる」、「やってみたい仕事やポストに異動する機会がある」のいずれも男性の方が女性より高くなっており、「あてはまるものはない」は女性の方が高くなっている。

処遇の公正さや女性の活用については、「女性の先輩や管理職が多くいる」は女性の方が高くなっており、「あてはまるものはない」は男性の方が高くなっている。

図 2-9 現職の勤め先の状況

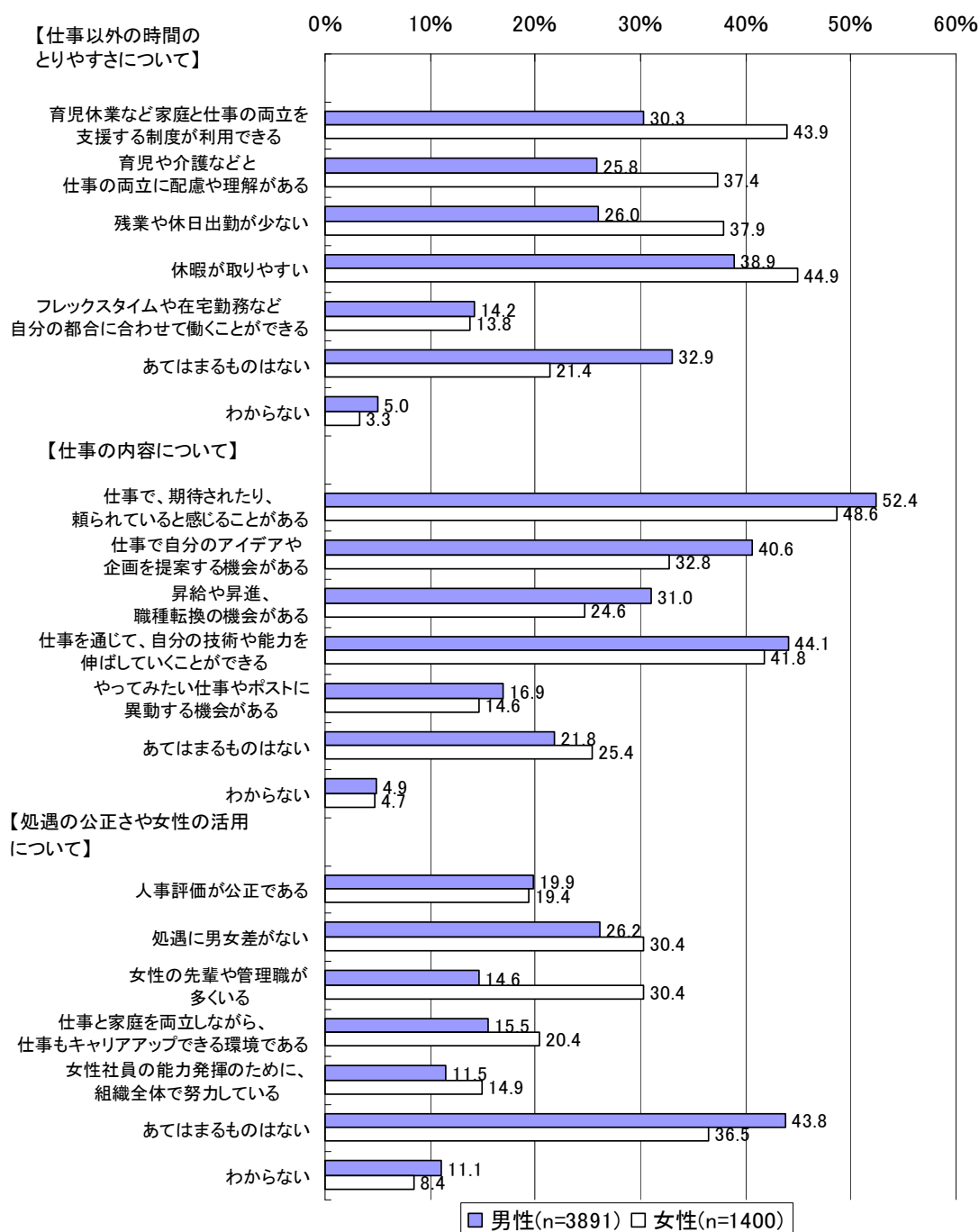


現職の勤め先の状況を、正社員、正規職員について、性別にみると、仕事以外の時間のとりやすさについては、「育児休業など家庭と仕事の両立を支援する制度が利用できる」、「育児や介護などと仕事の両立に配慮や理解がある」、「残業や休日出勤が少ない」、「休暇が取りやすい」のいずれも、女性の方が男性に比べ高くなっており、「あてはまるものはない」は男性の方が高くなっている。

仕事の内容については、「仕事で自分のアイデアや企画を提案する機会がある」、「昇給や昇進、職種転換の機会がある」は男性の方が高くなっている。

処遇の公正さや女性の活用については、「女性の先輩や管理職が多くいる」は女性の方が高くなっており、「あてはまるものはない」は男性の方が高くなっている。

図 2-10 現職の勤め先の状況[性別 正社員、正規職員]



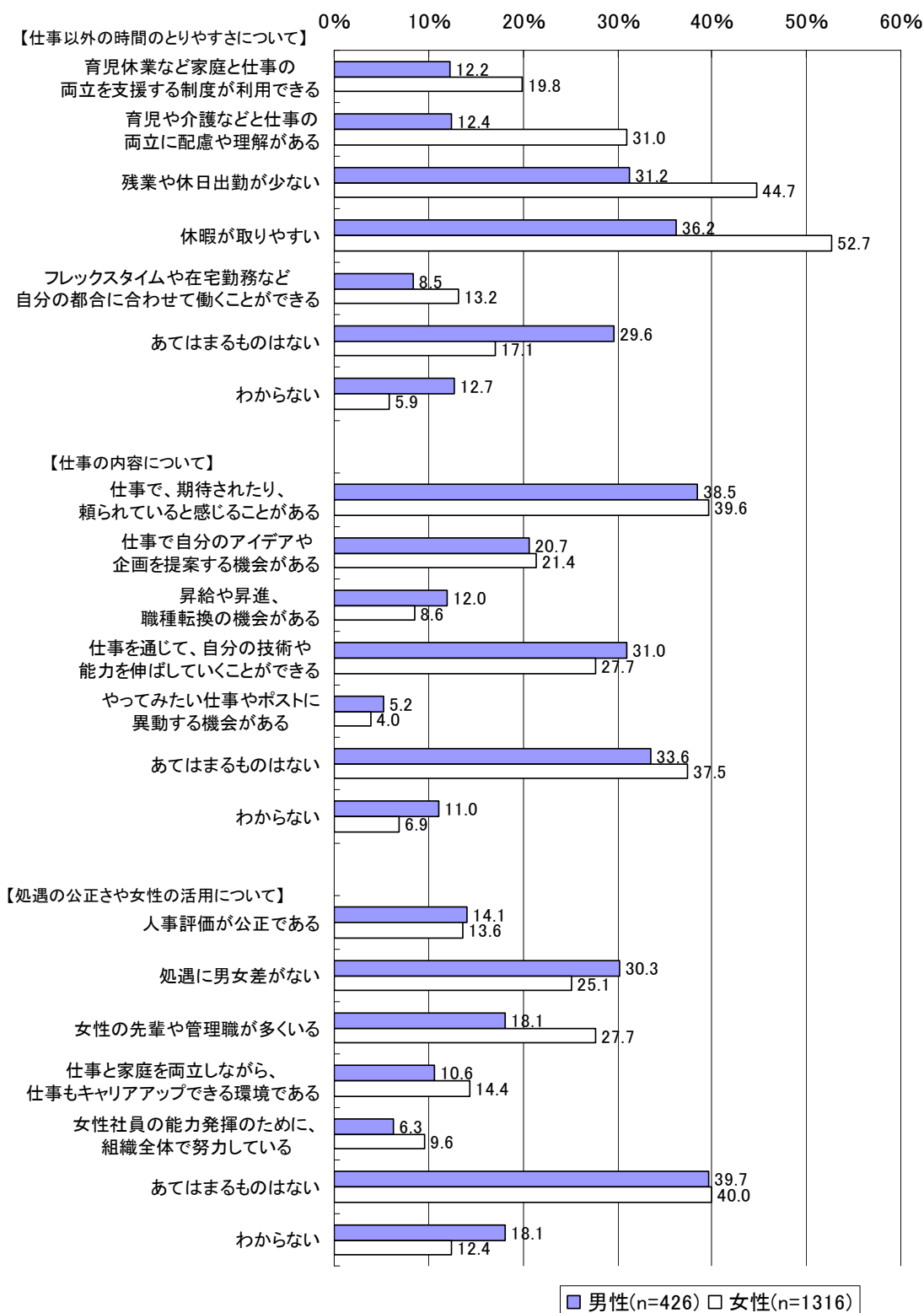
現職の勤め先の状況を、有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員について、性別にみると、仕事以外の時間のとりやすさについては、「育児休業など家庭と仕事の両立を支援する制度が利用できる」、「育児や介護など

と仕事の両立に配慮や理解がある」、「残業や休日出勤が少ない」、「休暇が取りやすい」のいずれも、女性の方が男性に比べ高くなっており、「あてはまるものはない」、「わからない」は男性の方が高くなっている。

処遇の公正さや女性の活用については、「処遇に男女差がない」、「わからない」は男性の方が高くなっており、「女性の先輩や管理職が多くいる」は女性の方が高くなっている。

図 2-11 現職の勤め先の状況

[性別 有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員]



(5) 勤め先の管理職の状況

Q4-11. 現在の勤め先の状況について、あてはまると思うものを選んでください。
なお、ご自身が管理職として働いている場合には、ご自身の状況についてあてはまるものを選んでください。(いくつでも)

ここでは、管理職を「部下を持ってその育成や評価を行い、一定の範囲の業務に責任を持って仕事をする人」と考えてご回答ください。

現在仕事をしている人(7771人)に対して、勤め先の管理職の状況を聞いた。性別にみると、「管理職だからといって、残業や休日出勤が多いということはない」、「管理職になるまでに、必要な知識や経験を身につける機会がある」、「管理職になった後も、相談できる同僚や先輩がいる」、「身近に同性の管理職がいる」は男性の方が多くなっており、「あてはまるものはない」は女性の方が多くなっている。

勤め先の管理職の状況を、正社員・正規職員について性別にみると、「管理職になるまでに、必要な知識や経験を身につける機会がある」、「管理職になった後も、相談できる同僚や先輩がいる」、「身近に同性の管理職がいる」は男性の方が多くなっており、「あてはまるものはない」は女性の方が多くなっている。

勤め先の管理職の状況を、有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員について性別にみると、正社員、正規職員の場合と比べ、性別によって大きな違いのある項目はなかった。

図 2-12 勤め先の管理職の状況

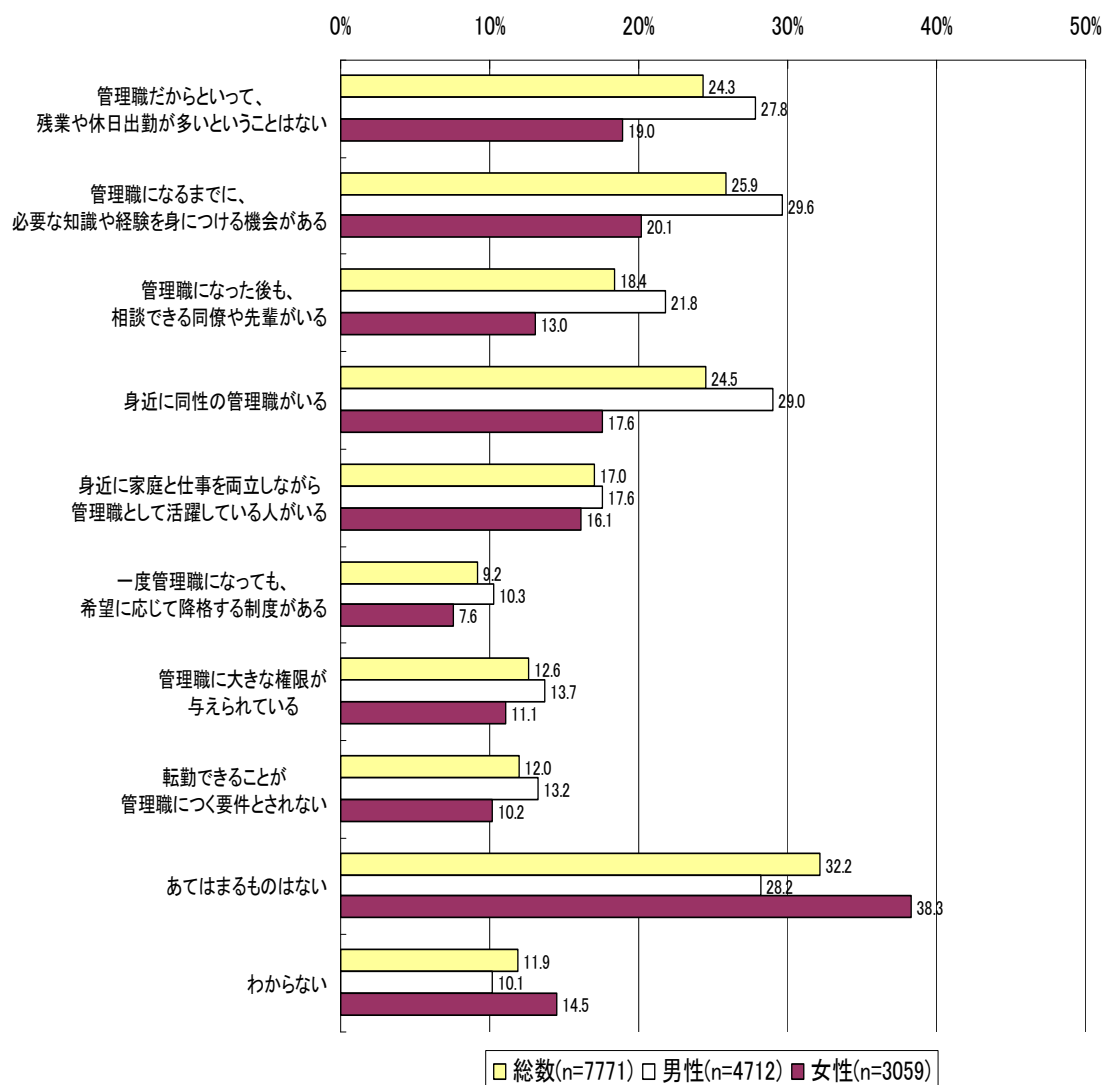


図 2-13 勤め先の管理職の状況 [性別 正社員、正規職員]

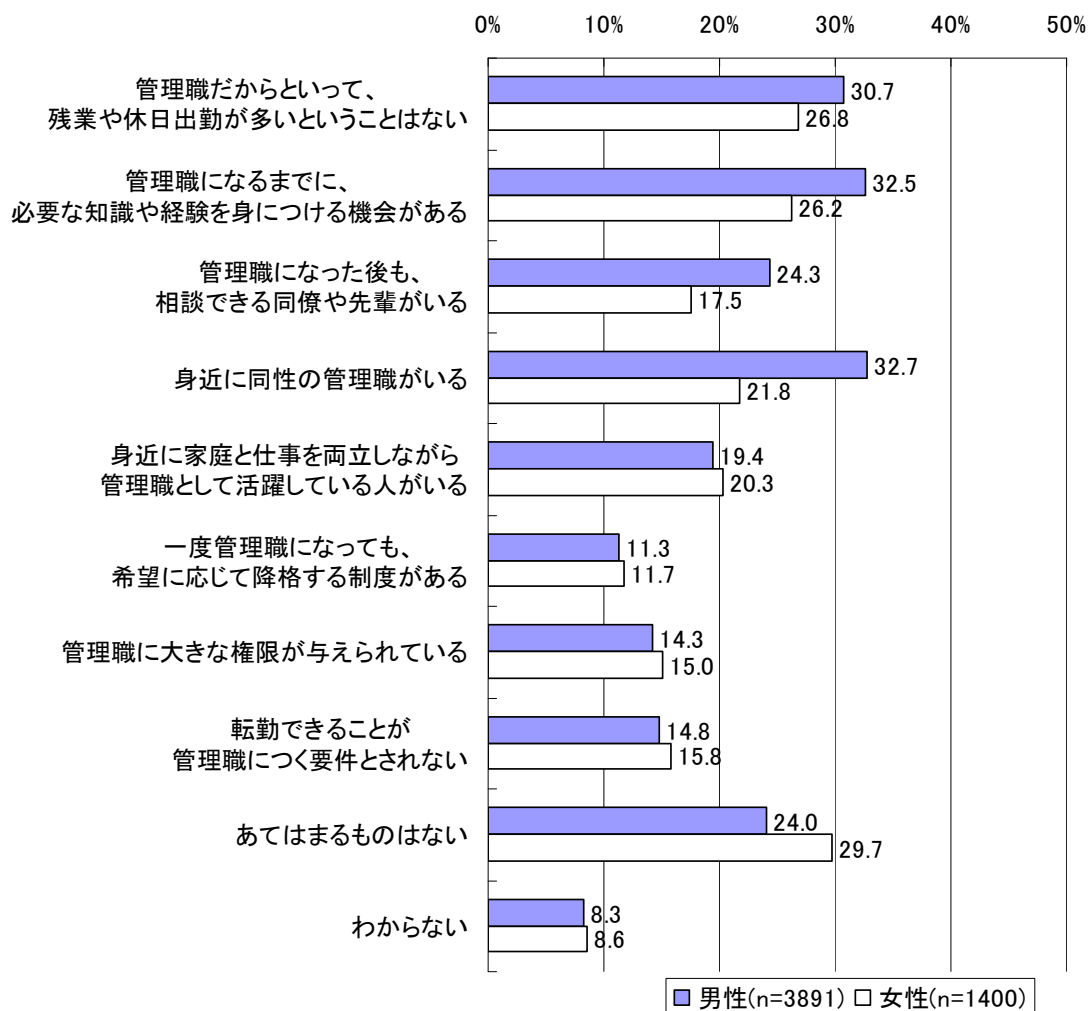
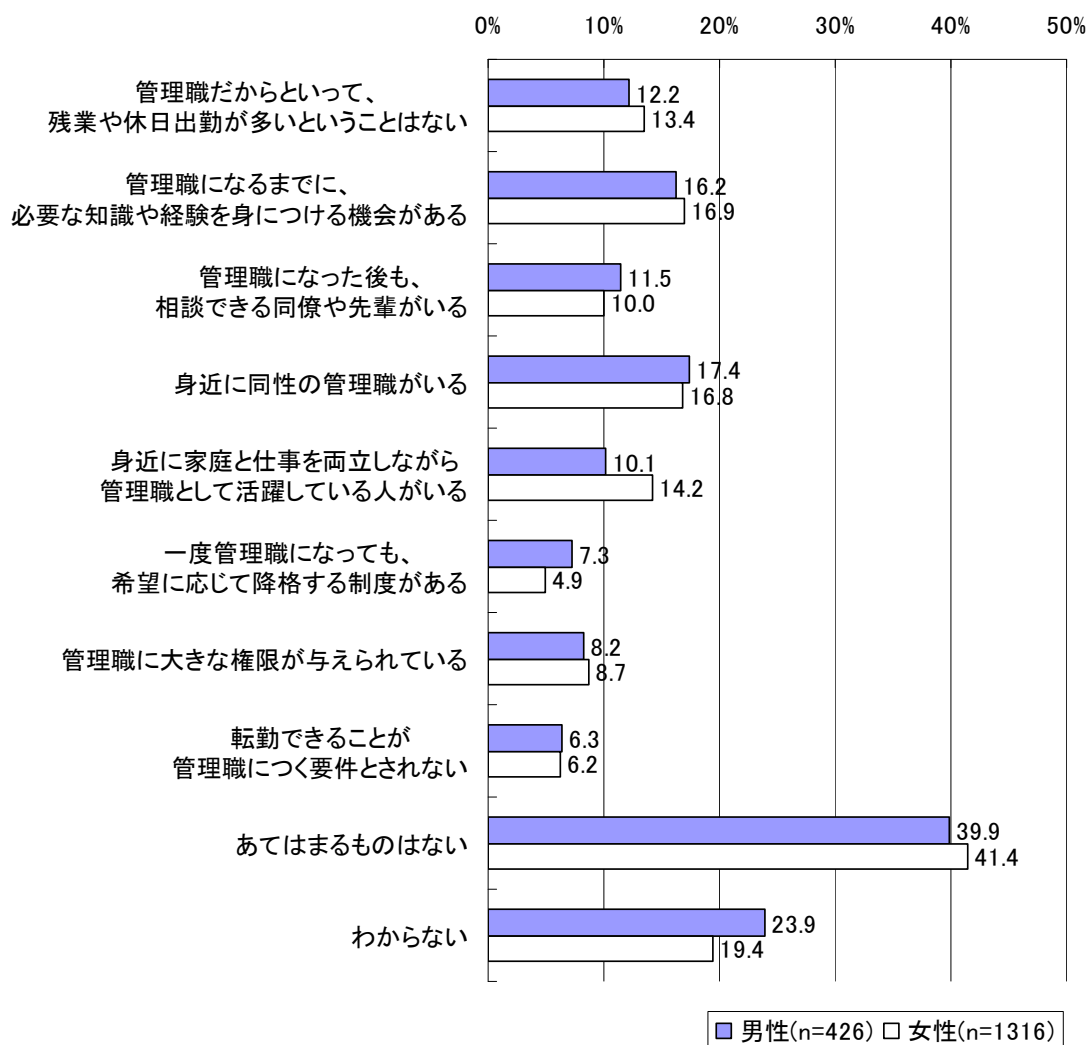


図 2-14 勤め先の管理職の状況

[性別 有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員]



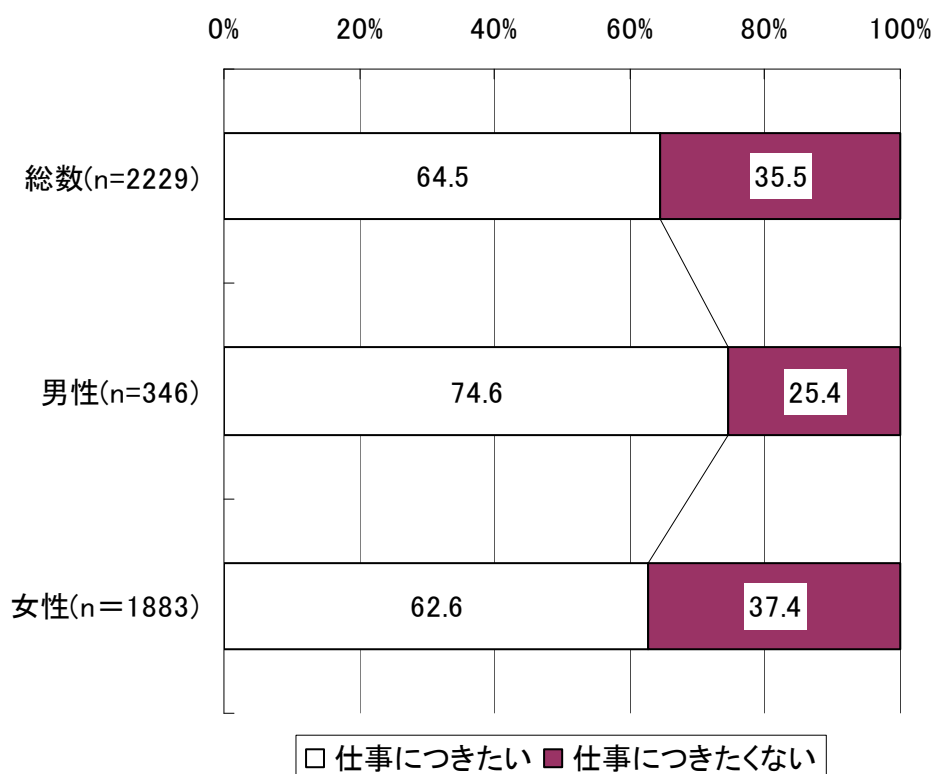
(6) 現在の就業希望の有無

【Q2-4「学校を出てから仕事についていたことがありますか」で「いいえ」を選んだ方と Q3-6 で「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」を選んだ方のみ】

Q4-12. あなたは現在、仕事につきたいですか。(ひとつだけ)

現在、仕事をしていない人(Q2-4(学校を出てからの就業経験)で学校を出てから仕事についていたことがないと回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」と回答した人計 2229 人)に対して、現在の就業希望の有無を聞いたところ、「仕事につきたい」は男性では 74.6%、女性では 62.6%となっている。

図 2-15 現在の就業希望の有無

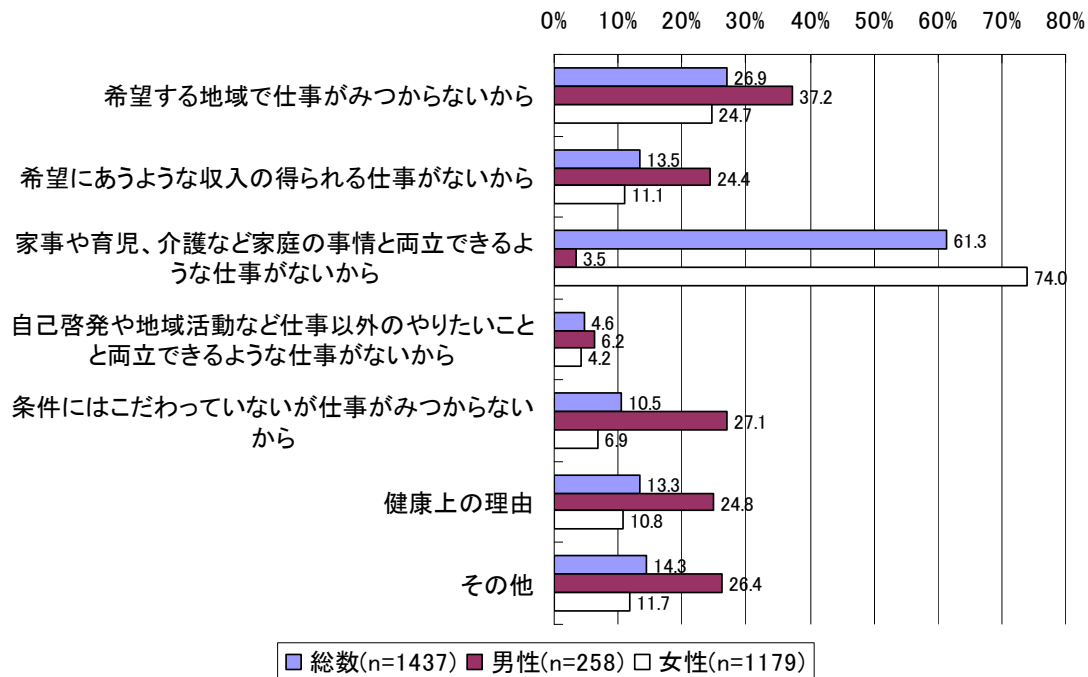


(7)現在仕事をしていない理由

Q4-12SQ1. あなたが現在、仕事についていない主な理由は何ですか。(いくつでも)

Q4-12(現在の就業希望の有無)で「仕事につきたい」と回答した人(1437人)に対して、現在仕事をしていない主な理由を聞いた。性別にみると、男性では「希望する地域で仕事が見つからないから」が37.2%で最も多く、次いで、「条件にはこだわっていないが仕事が見つからないから」が27.1%となっている。女性では、「家事や育児、介護など家庭の事情と両立できるような仕事がないから」が最も多く74.0%と7割を超えており、次いで、「希望する地域で仕事が見つからないから」が24.7%となっている。

図 2-16 現在仕事をしていない理由



(8) 今後希望する就業形態

Q5-1. あなたは(現状とは関係なく)今後どのような就業形態で働きたいですか。(ひとつだけ)

今後希望する就業形態について、性別にみると、男性では「正社員、正規職員」が 81.0%と最も多く、次いで「自ら起業、自営業」が 12.2%となっている。女性では、「正社員、正規職員」が最も多く 45.8%となっており、次いで、「パート、アルバイト」が 28.9%となっている。

性・就業状況別にみると、男性では、「正社員、正規職員」が、正社員、正規職員で 91.0%、有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員で 64.1%、仕事をしていない人で 63.9%と、いずれも最も多くなっている。また、内職／自ら起業、自営業／自営の家族従業者では、「自ら起業、自営業」が 71.3%と 7割を超えて最も多くなっている。

女性では、「正社員、正規職員」が、正社員、正規職員で 89.3%、有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員で 42.5%と、いずれも最も多くなっている。また、内職／自ら起業、自営業／自営の家族従業者では、「自ら起業、自営業」が 41.1%と最も多く、現在、仕事をしていない人では「パート、アルバイト」が 49.3%と最も多くなっている。

図 2-17 今後希望する就業形態

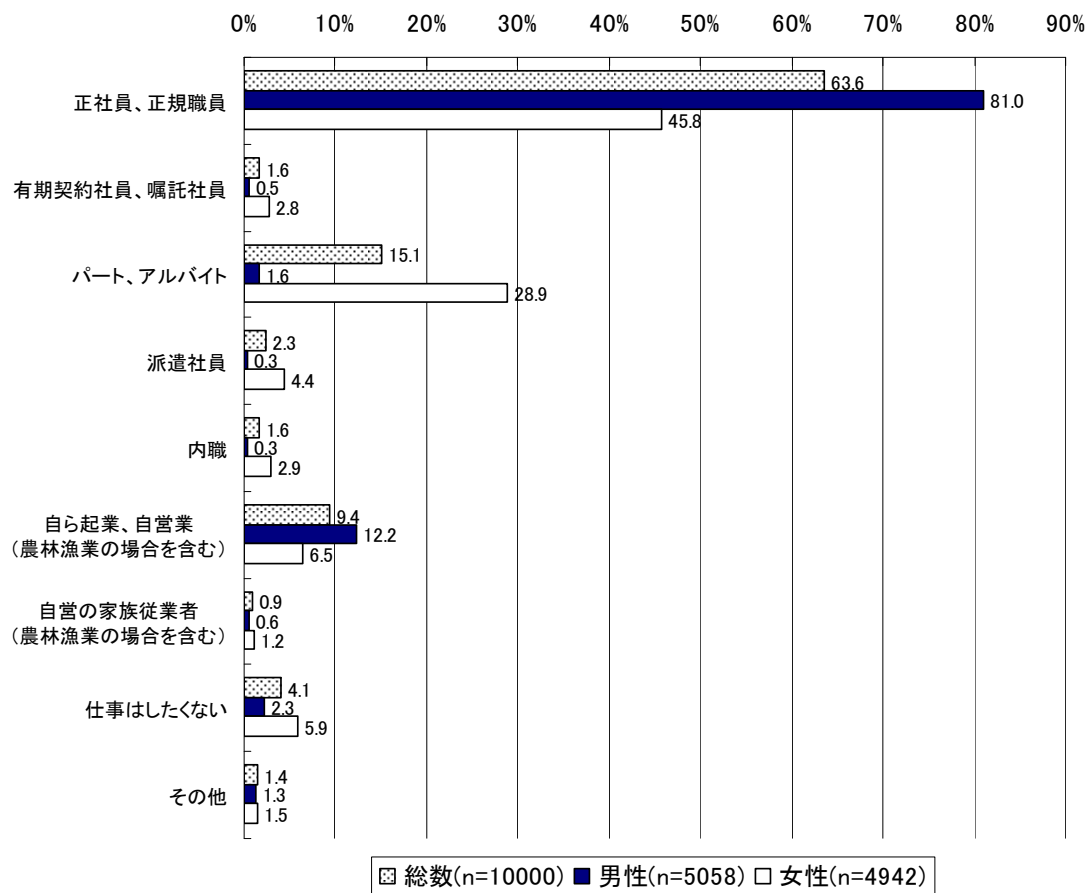
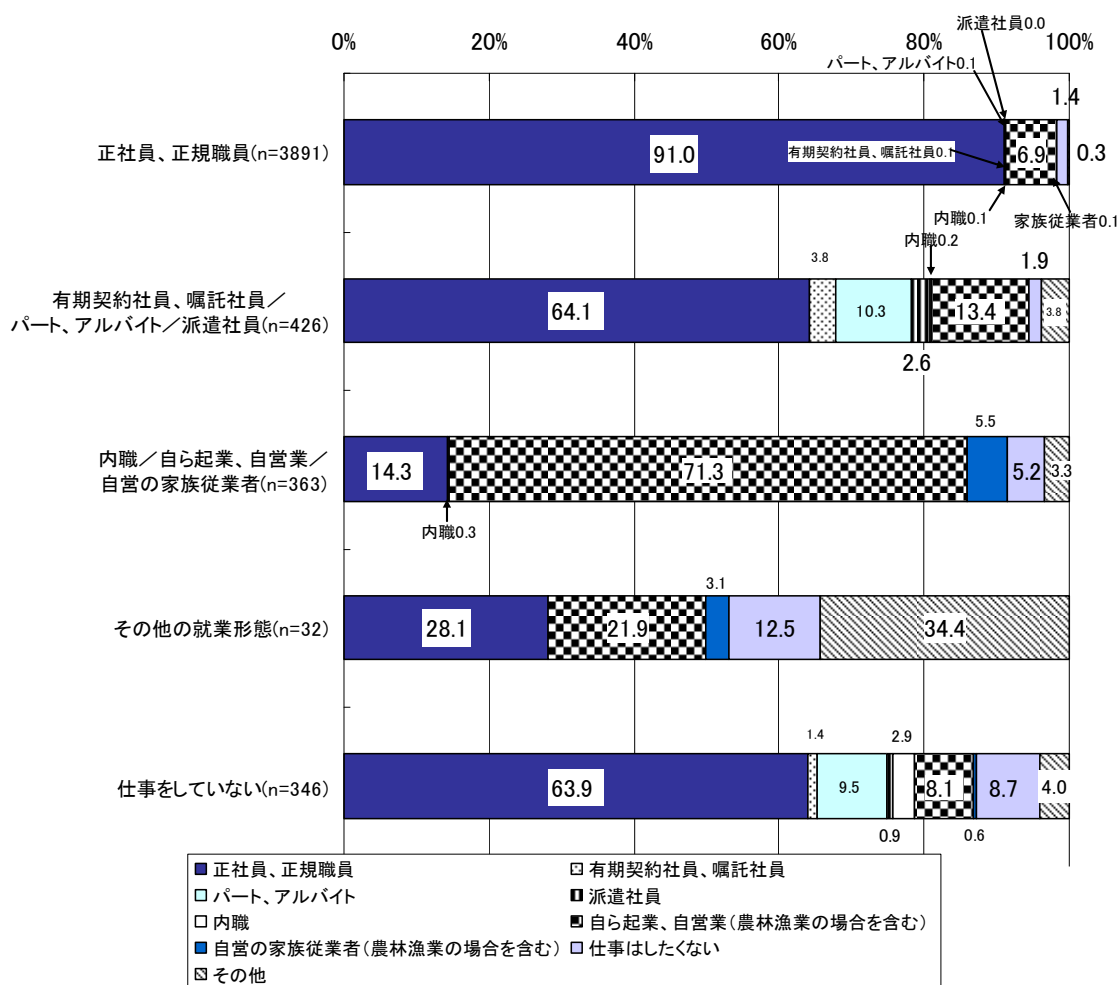


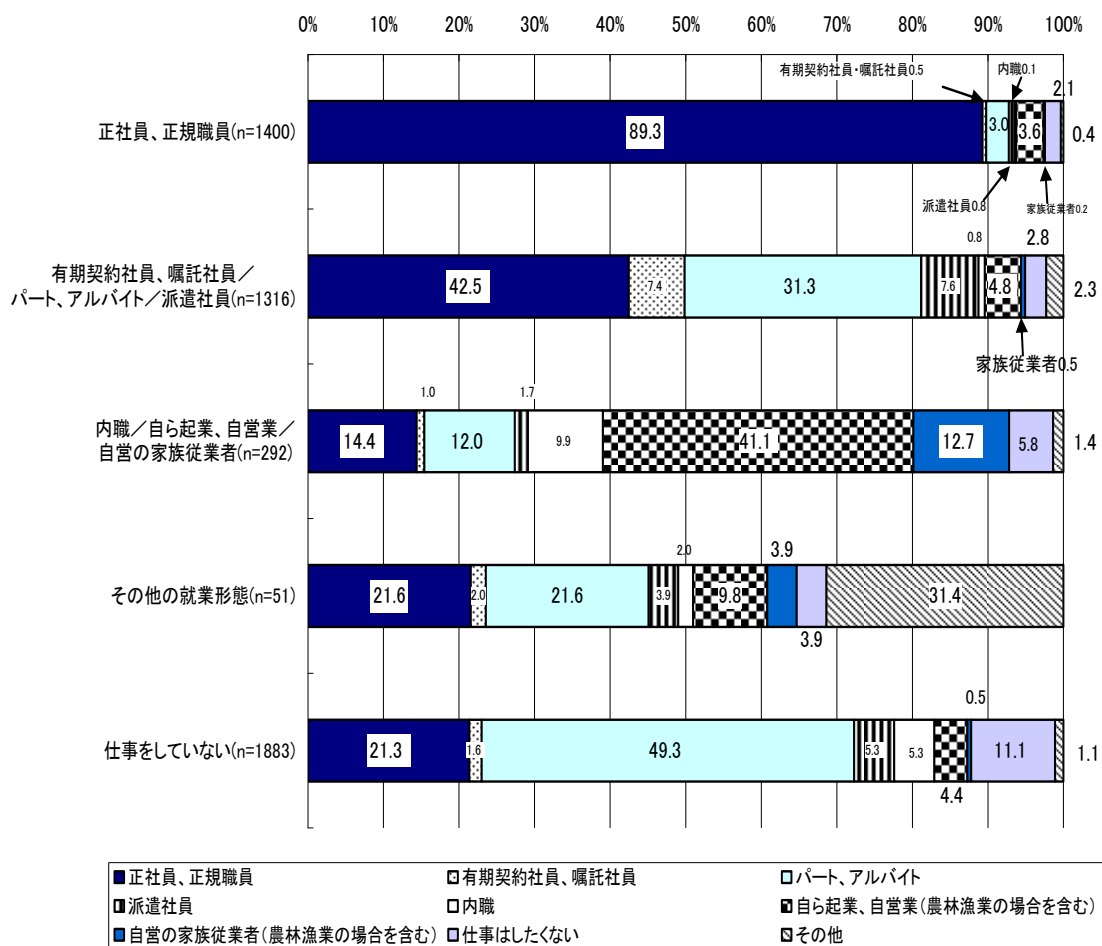
図 2-18 今後希望する就業形態[性・就業状況別 男性]



※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。

※ 有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員の「自営の家族従業者」、内職／自ら起業、自営業／自営の家族従業者の「有期契約社員、嘱託社員」「パート、アルバイト」「派遣社員」、その他の就業形態の「有期契約社員、嘱託社員」「パート、アルバイト」「派遣社員」「内職」については、該当者がいない。

図 2-19 今後希望する就業形態[性・就業状況別 女性]



※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。

(9) 仕事や働き方に対する今後の希望

Q5-2. あなたは、今後、仕事や働き方についてどのようになりたいと思いますか。
(それぞれひとつずつ)

- 管理職として、組織の経営や管理に携わりたい
- 特定の分野における業績や技能など専門性を高めたい
- 仕事以外のやりたいことや家庭を優先して働きたい
- 自分自身で独立して仕事をしたい

Q5-1(今後希望する就業形態)において、「仕事はしたくない」以外を選択した人(9592人)に対して、仕事や働き方に対する今後の希望を聞いた。性別にみると、「管理職として、組織の経営や管理に携わりたい」については、そう思う計(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が男性は49.7%、女性は15.9%となっている。

「特定の分野における業績や技能など専門性を高めたい」については、そう思う計が男性は80.2%、女性は67.1%となっている。

「仕事以外のやりたいことや家庭を優先して働きたい」については、そう思う計が男性は67.4%、女性は71.6%となっている。

「自分自身で独立して仕事をしたい」については、そう思う計は男性で39.7%、女性で25.9%となっている。

図 2-20 仕事や働き方に対する今後の希望
(1 管理職として、組織の経営や管理に携わりたい)

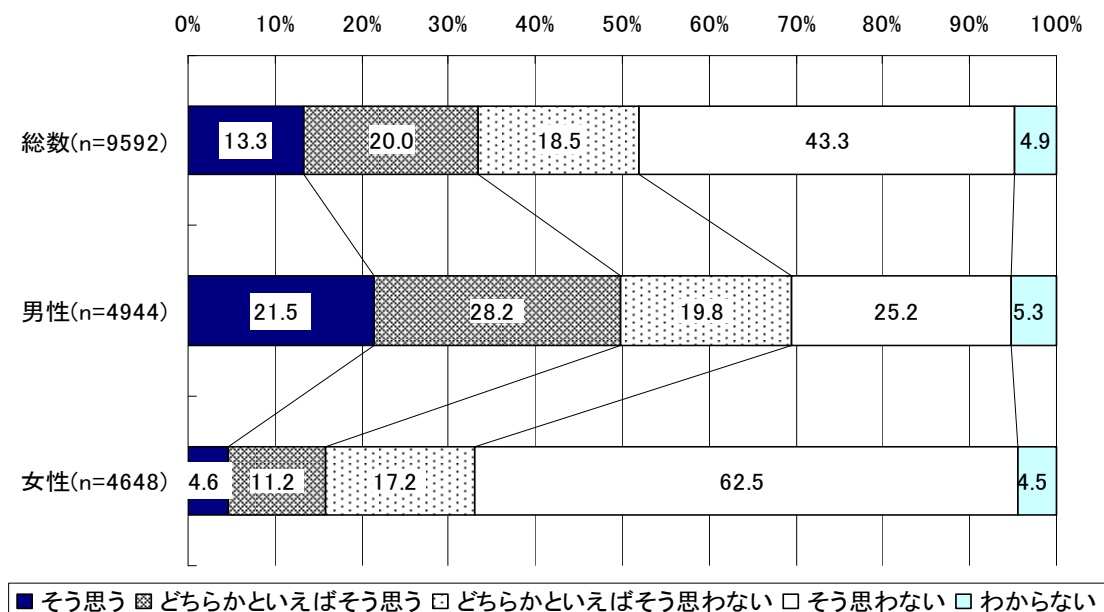


図 2-21 仕事や働き方に対する今後の希望
 (2特定の分野における業績や技能など専門性を高めたい)

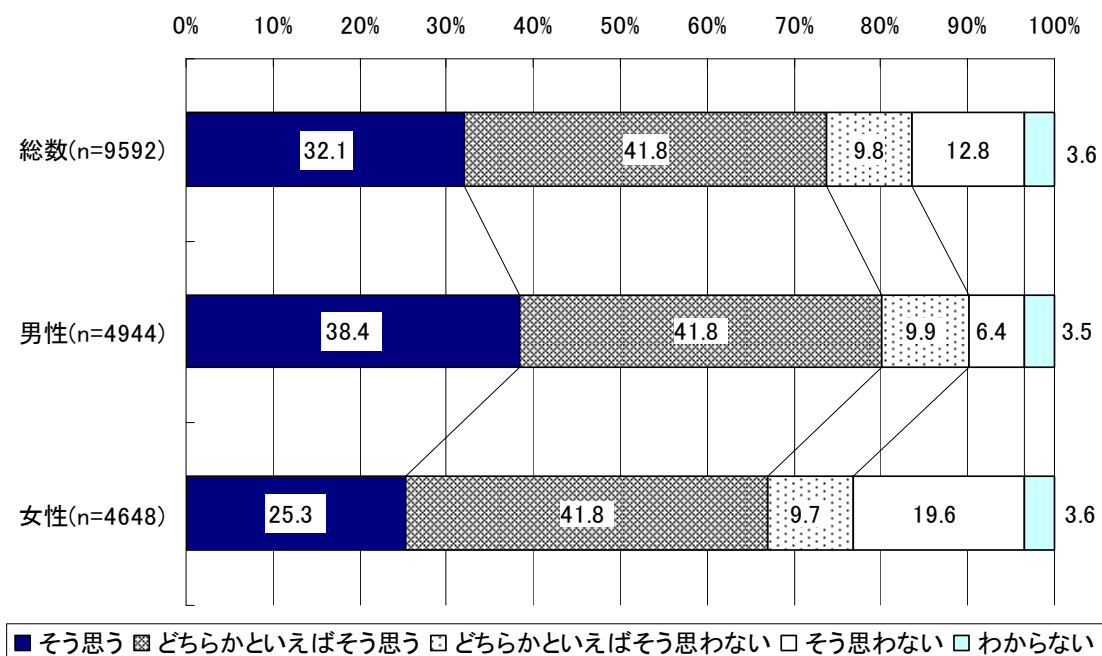


図 2-22 仕事や働き方に対する今後の希望
 (3仕事以外のやりたいことや家庭を優先して働きたい)

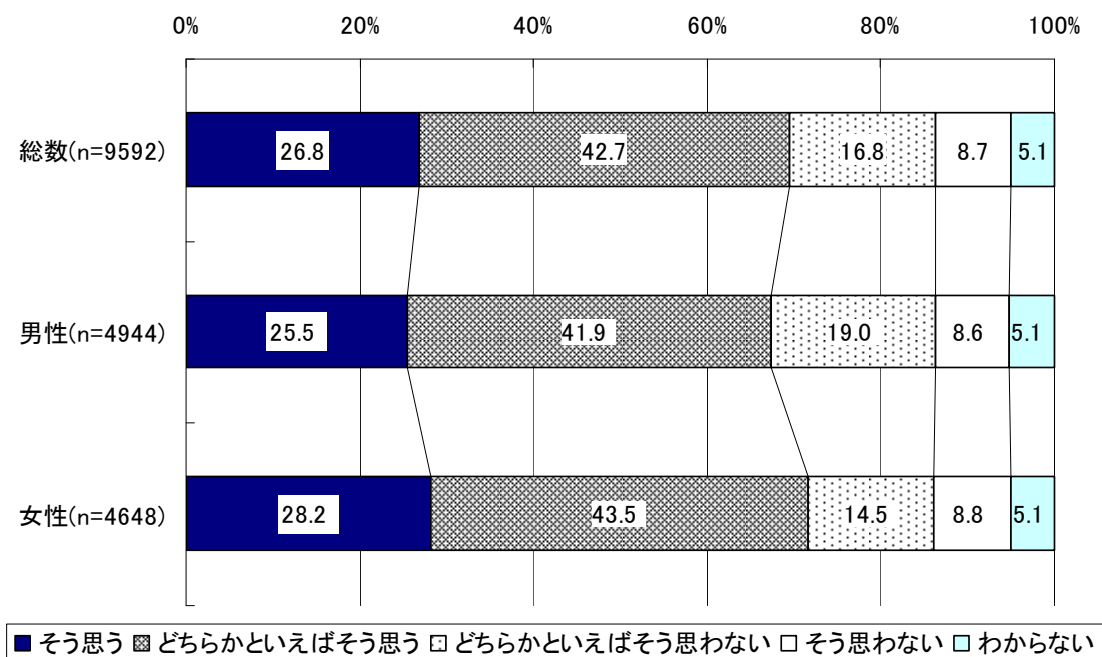
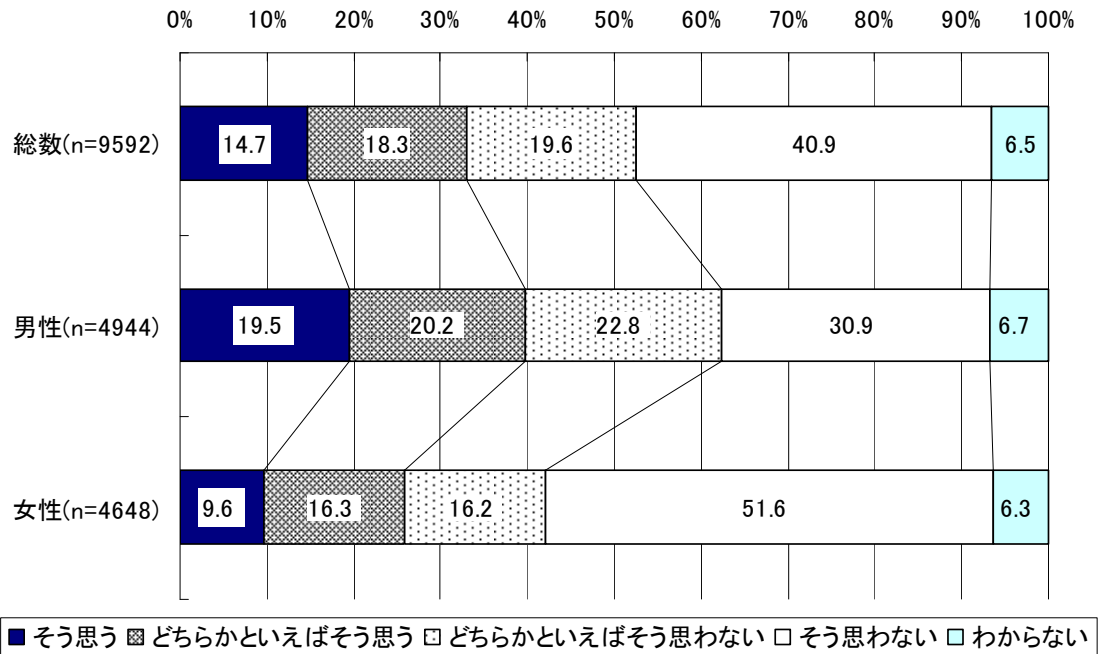


図 2-23 仕事や働き方に対する今後の希望
(4自分自身で独立して仕事をしたい)



(10)今後の仕事や働き方について自分の希望を実現させるためにしていること

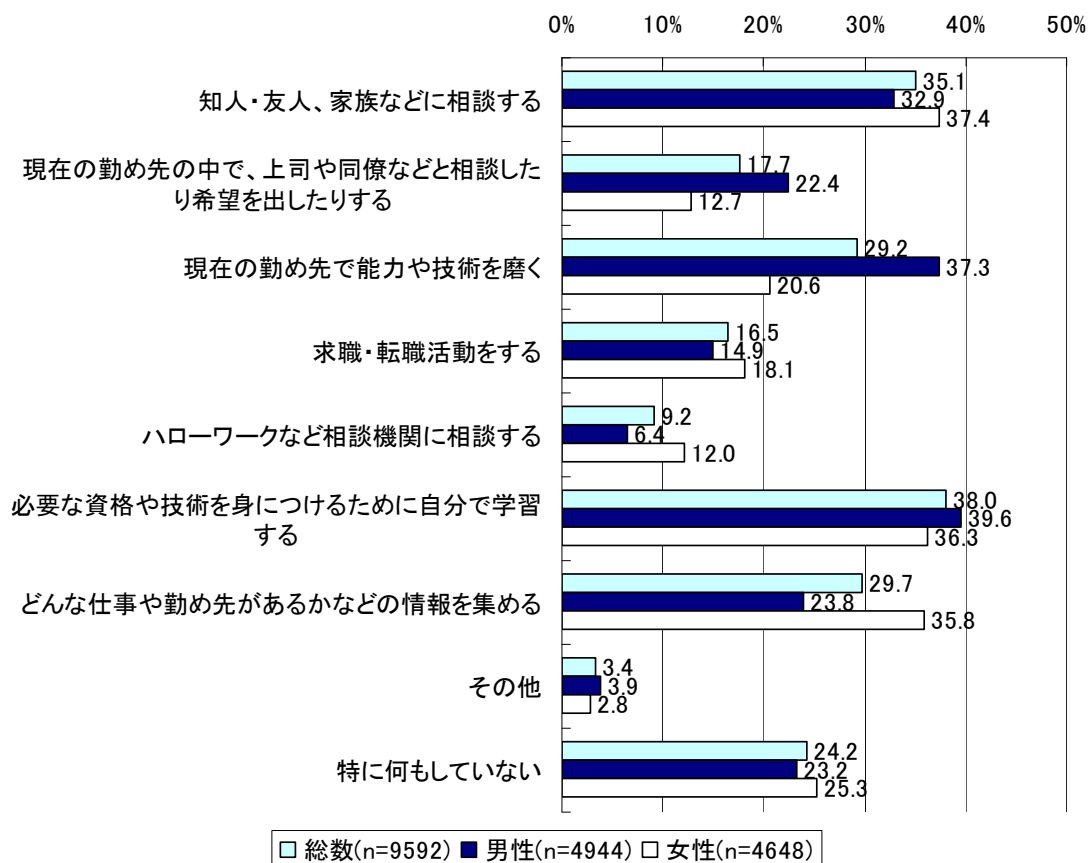
Q5-3. あなたが、今後の仕事や働き方について、自分自身の希望を実現させるために、していることはありますか。(いくつでも)

Q5-1(今後希望する就業形態)において「仕事はしたくない」以外を選択した人(9592人)に対して、今後の仕事や働き方に関して自分の希望を実現させるためにしていることについて聞いた。性別にみると、男性では「必要な資格や技術を身につけるために自分で学習する」が39.6%と最も多くなっており、次いで「現在の勤め先で能力や技術を磨く」が37.3%、「知人・友人、家族などに相談する」が32.9%となっている。女性では、「知人・友人、家族などに相談する」が37.4%と最も多く、次いで「必要な資格や技術を身につけるために自分で学習する」が36.3%、「どんな仕事や勤め先があるかなどの情報を集める」が35.8%となっている。

性・就業状況別にみると、男性では、「現在の勤め先の中で、上司や同僚などと相談したり希望を出したりする」、「現在の勤め先で能力や技術を磨く」が、正社員、正規職員で他の就業状況に比べ高くなっている。「求職・転職活動をする」は有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員と仕事をしていない人で、他の就業状況に比べ高く、「ハローワークなど相談機関に相談する」は仕事をしていない人で、他の就業状況に比べ特に高くなっている。「必要な資格や技術を身につけるために自分で学習する」は有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員で他の就業状況に比べ高くなっている。また、「どんな仕事や勤め先があるかなどの情報を集める」は、有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員と仕事をしていない人で他の就業状況に比べ高くなっている。

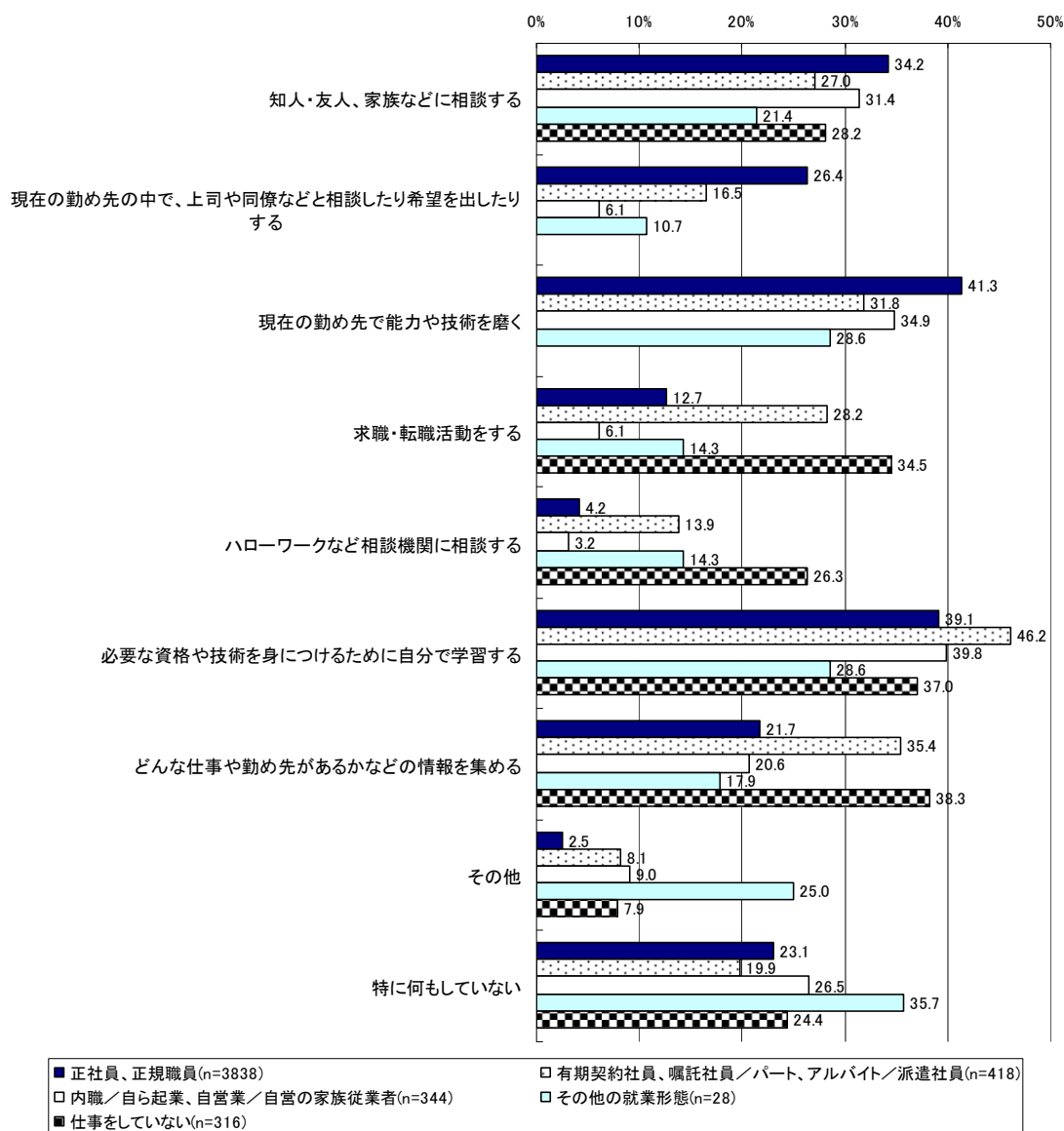
女性では、「現在の勤め先の中で、上司や同僚などと相談したり希望を出したりする」、「現在の勤め先で能力や技術を磨く」が、正社員、正規職員で、他の就業状況に比べ高くなっており、「必要な資格や技術を身につけるために自分で学習する」は内職／自ら起業、自営業／自営の家族従業者で、他の就業状況に比べ高くなっている。また、「どんな仕事や勤め先があるかなどの情報を集める」は、正社員、正規職員と内職／自ら起業、自営業／自営の家族従業者で他の就業状況に比べ低くなっている。

図 2-24 今後の仕事や働き方について自分の希望を実現させる
ためにしていること



※ 無回答については掲載を省略している。

図 2-25 今後の仕事や働き方について自分の希望を実現させる
ためにしていること
[性・就業状況別 男性]

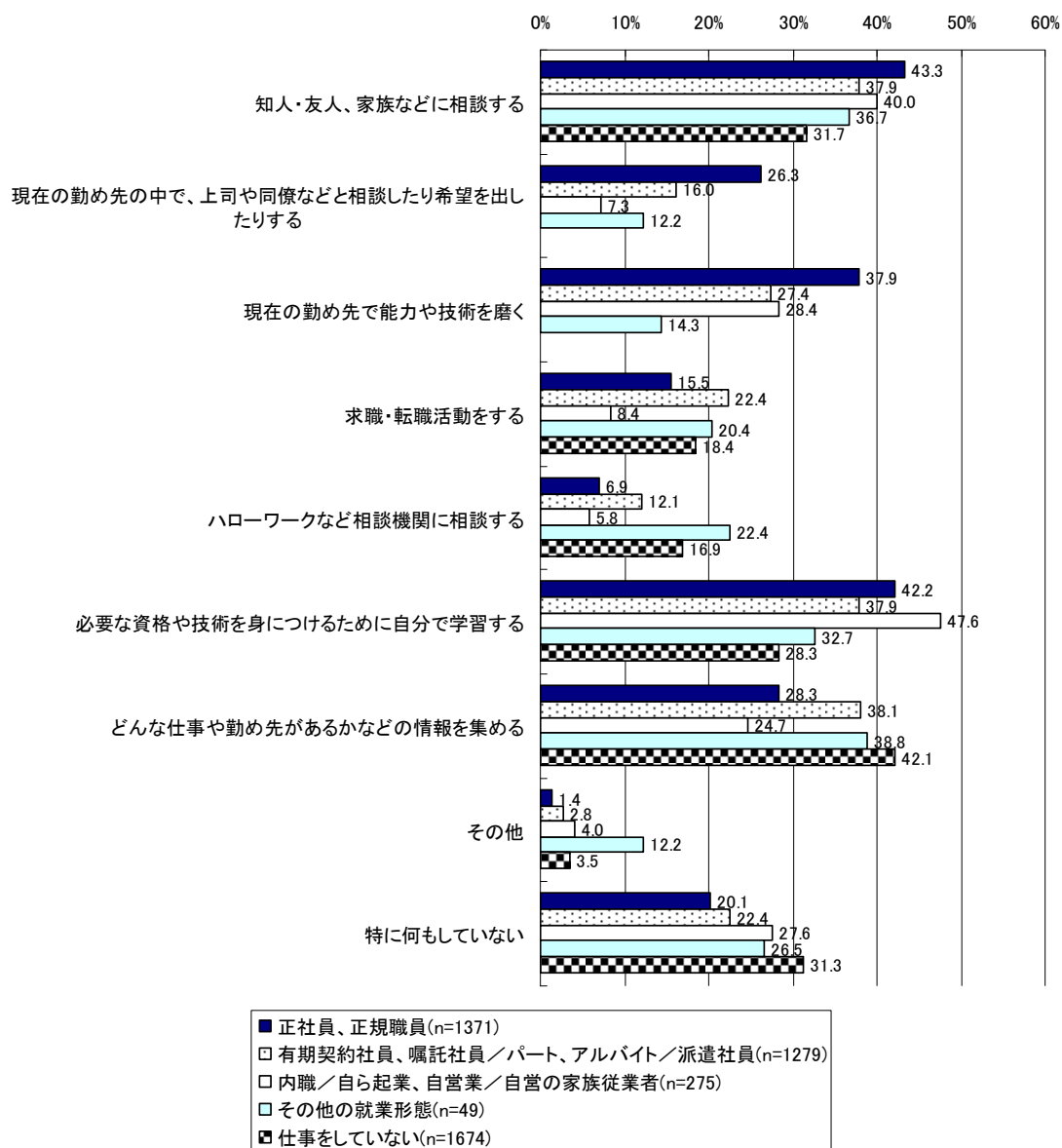


※ 無回答については掲載を省略している。

※ 「現在の勤め先の中で、上司や同僚などと相談したり希望を出したりする」及び「現在の勤め先で能力や技術を磨く」については、「仕事をしていない」の該当者はいない。

※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。

図 2-26 今後の仕事や働き方について自分の希望を実現させる
ためにしていること
[性・就業状況別 女性]



※ 無回答については掲載を省略している。
 ※ 「現在の勤め先の中で、上司や同僚などと相談したり希望を出したりする」及び「現在の勤め先で能力や技術を磨く」については、「仕事をしていない」の該当者はいない。
 ※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。

(11) 希望する仕事や働き方の実現のために何もしていない理由

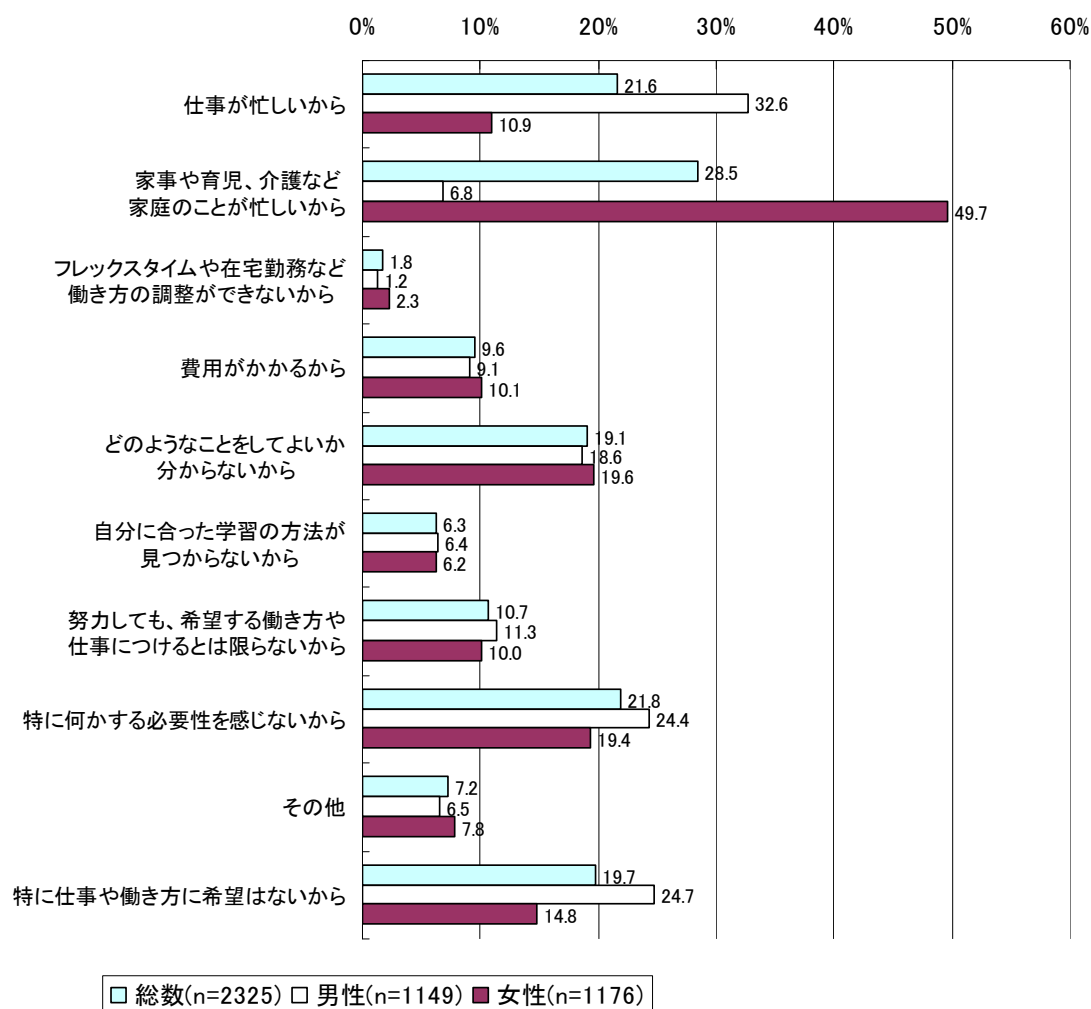
【 Q5-3 で「特に何もしていない」を選択した方のみ 】

Q5-3SQ1. あなたが特に何もしていない主な理由は何ですか。(いくつでも)

Q5-3(今後の仕事や働き方について自分の希望を実現させるためにしていること)において、「特に何もしていない」を選択した人(2325人)に対して、何もしていない主な理由を聞いた。性別にみると、男性では、「仕事が忙しいから」が32.6%で最も多く、次いで「特に仕事や働き方に希望はないから」が24.7%、「特に何かする必要を感じないから」が24.4%となっている。女性では、「家事や育児、介護など家庭のことが忙しいから」が49.7%で最も多く、次いで「どのようなことをしてよいか分からないから」が19.6%、「特に何かする必要を感じないから」が19.4%となっている。

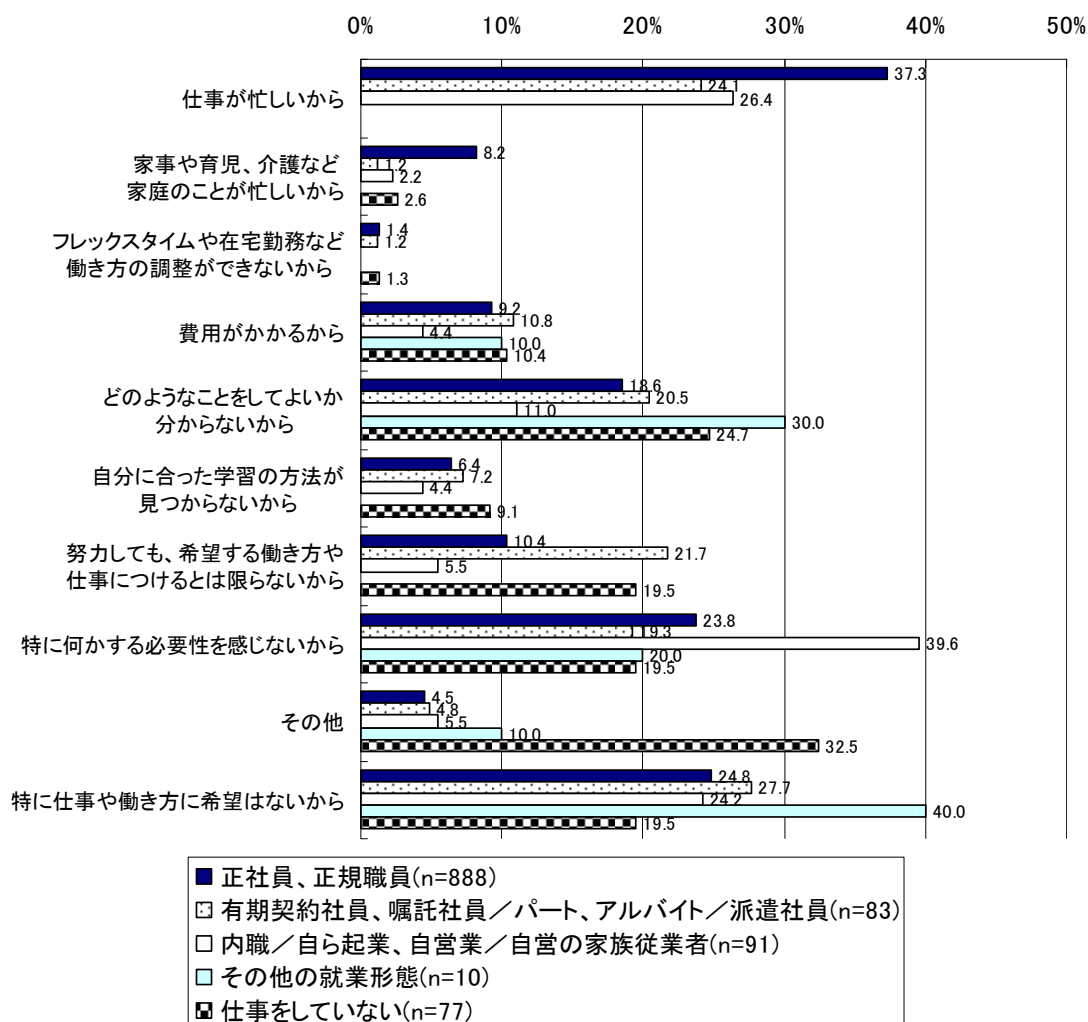
性・就業状況別にみると、男性の正社員、正規職員では、「仕事が忙しいから」が最も多く、次いで「特に仕事や働き方に希望はないから」、「特に何かする必要を感じないから」となっている。女性では、「仕事が忙しいから」が正社員、正規職員で、有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員に比べ高くなっており、「家事や育児、介護など家庭のことが忙しいから」は仕事をしていない人で77.3%と特に高くなっている。また、「どのようなことをしてよいか分からないから」、「特に何かする必要を感じないから」は正社員、正規職員と有期契約社員、嘱託社員／パート、アルバイト／派遣社員で、仕事をしていない人に比べて高くなっている。

図 2-27 希望する仕事や働き方の実現のために何もしていない理由



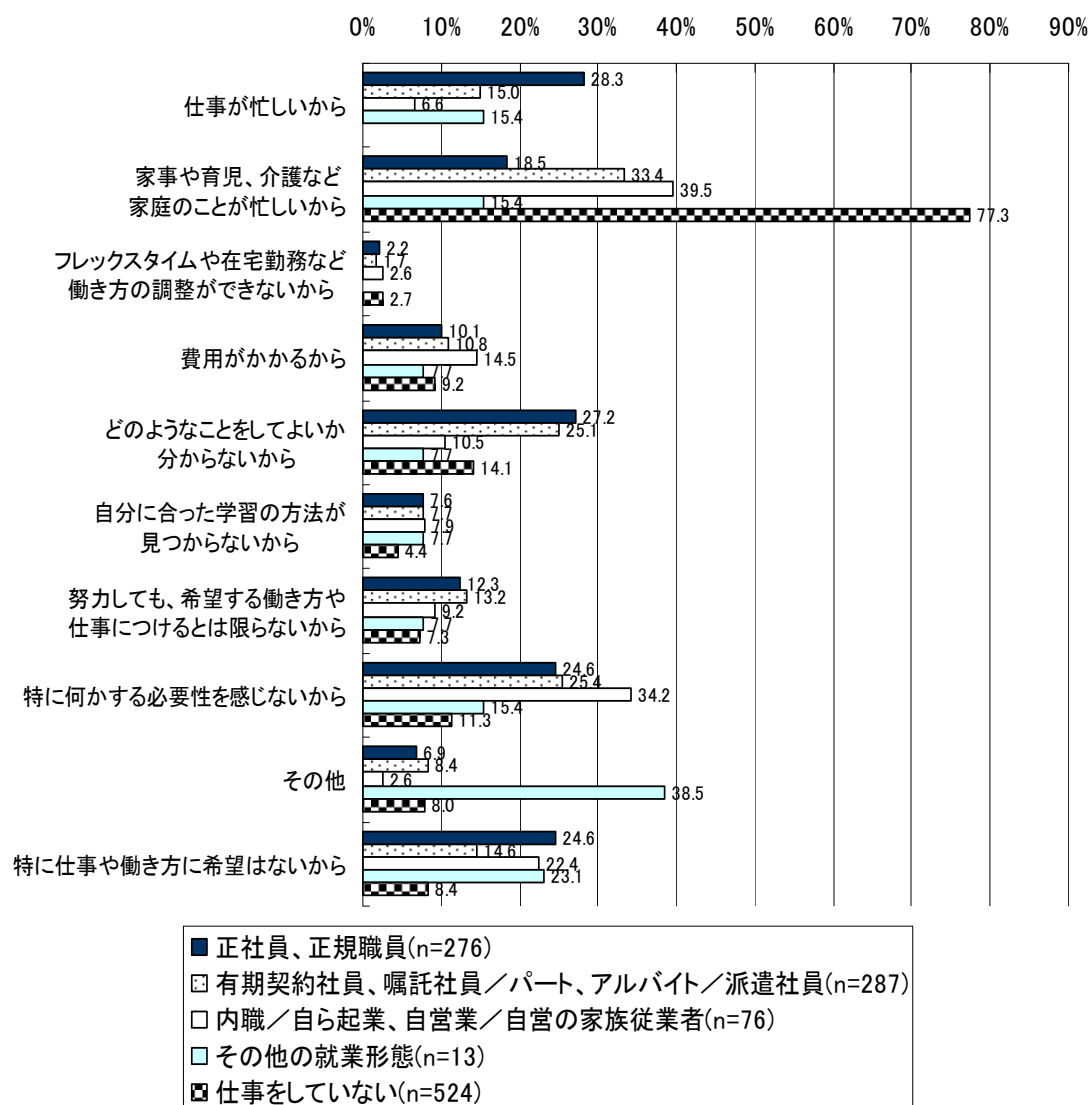
※ 無回答については掲載を省略している。

図 2-28 希望する仕事や働き方の実現のために何もしていない理由
[性・就業状況別 男性]



※ 無回答については掲載を省略している。
 ※ 「仕事が忙しいから」については、「その他の就業形態」と「仕事をしていない」の該当者はいない。
 ※ 「家事や育児、介護など家庭のことが忙しいから」「自分に合った学習の方法が見つからないから」「努力しても、希望する働き方や仕事につけるとは限らないから」については、「その他の就業形態」の該当者はいない。
 ※ 「フレックスタイムや在宅勤務など働き方の調整ができないから」については、「内職／自ら起業、自営業／自営の家族従業者」と「その他の就業形態」の該当者はいない。
 ※ 「その他の就業形態」は Q4-1 (現職の就業形態) で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4 (学校を出てからの就業経歴) で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない) と回答した人、及び Q3-6 (初職からの離職状況) で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない) と回答した人の合計である。

図 2-29 希望する仕事や働き方の実現のために何もしていない理由
[性・就業状況別 女性]



※ 無回答については掲載を省略している。
 ※ 「仕事が忙しいから」については、「仕事をしていない」の該当者はいない。
 ※ 「フレックスタイムや在宅勤務など働き方の調整ができないから」については、「その他の就業形態」の該当者はいない。
 ※ 「その他の就業形態」は Q4-1(現職の就業形態)で「その他」を選択した人であり、「仕事をしていない」は Q2-4(学校を出てからの就業経験)で、「いいえ」(学校を出てから働いたことはない)と回答した人、及び Q3-6(初職からの離職状況)で、「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」(初職を辞めて現在は仕事をしていない)と回答した人の合計である。